

晩秋、11月に入りますます秋が深まり、沖縄もようやく肌寒くなりました。薄手の長袖を着て、お散歩に行くとか秋風を感じたり、落ち葉を踏んでパシャパシャと音を楽しんだりして季節を感じることができます。

そして秋が終わると寒い季節、冬がやってきますね！本当に1年が経つのは、早いものです。

今月は過ぎ行く秋を惜しみながら、秋空の下、お散歩や屋外活動をして、子ども達と一緒に冬に向けての丈夫な体作りを行って参りたいと思います。

皆様も身体をご自愛しながら、沢山のアクティビティを経験したり、心動かされたり、素敵な思い出をお作り下さい。今月もどうぞよろしくお願ひ致します。



ホカホカ飛び出る焼きいも〜3つの材料で楽しむ手作りおもちゃ

- 材料
- ・折り紙
 - ・紙コップ(2個)
 - ・たこ糸
 - ・のり
 - ・はさみ
 - ・クレヨン
 - ・キリ

●作り方

1. 紙コップの外側に、折り紙を貼る。
2. 折り紙で焼きいもやたき火を作り、1の紙コップの外側にそれぞれ貼る。
3. 焼きいもの紙コップの底に、30cm程度に切ったたこ糸をセロハンテープで貼り付ける。
4. たき火の紙コップの両脇の上の方に、キリで穴を2つ開ける。内側から3のたこ糸を通し、たこ糸が抜けないように糸の両端を玉結びしたらできあがり！
5. ひもを引っ張って遊んでみよう！

- ポイント！
- ・焼きいもの代わりにおぼけを飛び出させてみるなど、アレンジいろいろ。
 - ・2段だけじゃなく、紙コップを3個以上重ねて作ってみてもおもしろい！
 - ・季節に合わせて飛び出すものを変えても楽しめる。春なら草むらから出てくるうさぎ、夏なら海から飛び出すイルカなど…！
 - ・みんなで、「せーの」でびよこんと飛び出させるのも、また楽しい！



<hoiclueより>

ゲームや動画をやめない子にイライラ！ルール決めのポイントは？

現在、ゲームやYouTubeに夢中になるお子さまは大変多いです。「やめなさい」と言ってもなかなかやめない子どもに、困り果てている保護者のかたもいるでしょう。そこで、「かおりメソッド」の提唱者で保護者に向けた子育て講座を開講している岩田かおりさんに、ゲームやYouTubeをやめない子どもたちへの接し方について聞きました。



ゲーム・YouTube以外に家族で楽しめるものを見つけよう

「ゲームやYouTubeばかり何時間も観ている」というお悩みをよく耳にします。この問題の根本は、子どもがゲームやYouTube以外に夢中になれるものを見つけられていないということです。子どもは自分が楽しいと感じるものであれば、没頭します。そうしたものをご家庭で見つけていく、つまり楽しめるものをつくる努力が必要なのです。

「子どもが楽しめるものをどうやって見つけたらよいのだろうか？」と悩む保護者のかたには、私は読書を推奨しています。「勝手に読みなさい」では子どもはなかなか手に取らないので、最初は保護者のかたと一緒に読んで楽しませましょう。他にも、外遊びも有効です。ボール遊びをしたり虫捕りをしたり、お子さまが楽しめるものがあるはずです。ものづくりも子どもは大好きです。ね、ピースおもちゃでの小物作りや知育ブロックなども有効です。ゲームやYouTube以外で楽しめる可能性があるものをいろいろと試し、家族で模索していく姿勢こそが重要なのです。

ルールを決め、ルールを守らせる

「一度ゲームをやれば、『やめなさい』といくら言っても無駄なんです」というお悩みもよく聞きます。ゲームは、第一線のプロが1分でも楽しめるように設計したツールで、大人でも時間を忘れて夢中になってしまふものです。そんなゲームに対して、子どもが自分の欲求にストップをかけることは、簡単なことではありません。そこで必要なのは、ゲームをするためのルールをあらかじめ決めておくことです。私は平日に時間の管理をすることは難しいと思ったので、「平日は0時間、週末は5時間OK」と子どもたちとルールを決めていました。こう決めておけば、平日に「子どもばかりいくら言ってもゲームをやめない」とイライラすることがなくなります。その代わり、週末は思いっきりほほほ好きだけやらせると決めたのです。そして、もし決まりを守らなければ、ゲームを没収するというルールにしていました。没収されれば、その週末はゲームをすることができません。子育ての難しいところは、「こうすればすべて解決する」という万能な「正解」がないことです。そのため、私と子どもたちで決めた、「平日は0時間、週末は5時間OK」のルールがすべてのご家庭にマッチするとは限りません。私がルールを決めるうえで大事にしたことは、「保護者が笑顔でいられる方法にする」ということ。ぜひ、この方針を踏まえて、ご家庭に合うルールを決めていきましょう。

ペナルティーの時もゲームをしている時も嫌な顔をしな

ゲームやYouTubeの使用ルールを決めたあとに大事にしてほしいことは、ペナルティーを課す時に感情的にならないようにすることです。よくあるのが、ルールを破った子に対して「どうして守れないの！」「何度も言っているでしょ！」と怒りをぶつけてしまうことです。ルールが守れていなければ、「違反だから、1週間没収ね」と伝えればよいのです。一番よくないことは、怒るだけ怒って、きちんとペナルティーを与えないこと。感情的にならずにきちんとペナルティーを遂行することで、子どもは保護者に対して「言ったことはきちんとやるんだ」と思うでしょう。保護者のほうもイライラする機会を減らすことができます。人間誰しも、人生においてスケジュール通りにいかないことを経験します。たとえば、大人でもやらなければいけないことがあるのに、ついついドラマを見つけてしまうようなことがありますよね。しかし、社会人であれば、スケジュール通りに進めなかったことで発生した仕事の遅れ(ペナルティー)をどう挽回するかを考えるはずです。ゲームやYouTubeの使用ルールを通じて、お子さまにルールを守ることとペナルティーの関係性を経験させていくことが大切なのです。最後に、お子さまがルールに則ってゲームやYouTubeをしているのに、つい「まだやっているの」と嫌な顔をしてしまう癖があるかたは見直していただくとよいですね。もしもご自身が友達と遊びに行く日に家族に嫌な顔をされたら、少なからず不快な気持ちを抱きますよね。「楽しんできてね」と気持ちよく送り出されるのと、明らかに満足感が違うはず。子どもにも同じことが言えます。ルールに従って遊んでいるのなら、100%満喫してもらえばよい。保護者のかたが嫌な顔をする必要はないのです。

まとめ&実践TIPS

ゲームやYouTubeをやめない子どもたちには、まずそれ以外の楽しみを見つけてあげることが重要です。家族で、お子さまの特性に合った「夢中になれるもの」を探していきましょう。さらに、ゲームやYouTubeの使用ルールを決めてそれを運用します。「なんでいうことを聞かないの！」などと感情的になる必要はなく、ルールを守る重要性と守らなかった場合のペナルティーの関係性を学んでいく機会とすればよいのです。そして、ルールを守っているならば、ゲームをしていても嫌な顔をしなないということも大切です。ゲームやYouTubeとの付き合い方を決め、保護者のかたも気持ちよく過ごせるようになるとういことです。

<ベネッセ教育情報サイト>

今月の絵本



火はみんなの暮らしに必要なものです。でも、火は危険なものでもあります。大きな火事になってしまうこともあるのです。では、火事になるのはどんなときでしょう。火のそばから離れたとき、ストーブのまわりに燃える物を置いたとき、電気器具やコンセントがショートしたとき、花火の火をきちんと消していないとき、火遊びをしたとき、タバコの火をきちんと消していないときなどです。では、火事になりそうなきときはどうすればよいのでしょうか。小さな火はすぐに水をかけて消します。火が大きくなってしまったときはすぐに逃げます。

では、どう逃げたらよいのでしょうか。煙を吸わないように「火事だー！」と大声を出しながら、エレベーターやエスカレーターは使わずに階段で下ります。逃げられなくなったときは大声で助けを呼びましょう。火事を見つけたら、電話で「119」を押して通報します。大人の人がいるときはその人に知らせます。避難するときは人を押しやりせず、おしゃべりせず、忘れ物をしても取りに戻らないことが大切です。消防車のサイレンが聞こえたら、どこかで火事が起きているということ。みんなも火事を起こさないように気を付けましょう。火事にならないようにするにはどうすればいいか、火事になってしまったらどうすればいいか、かわいい絵でわかりやすく描かれています。「大きな火の場合は消そうとせずすく逃げる」「大人の人がいれば知らせる」など、きちんと子どもの目線になっている防災絵本です。



子どもたちも大好きな『くりのきんぎょシリーズ』の七五三絵本です。由来などは書かれていませんが、七五三のお祝いがテーマのお話になっています。「七五三っていいな」と温かい気持ちになれる作品で、乳児クラスの子どもたちも喜びそうな内容です。



幼児クラスにはこっちがおススメ！由来や七五三の歴史、千歳輪について等、書かれていますよ！